

# VS Code で $\text{\LaTeX}$ を書く

## VS Code の機能を使いこなす

リュカ, 裕磨

ゼロイチゼミ, 学術サーバー

August 2, 2023

# TeXlive の導入

- 1 TeXlive のインストーラーを次のページからダウンロードする。  
`https://www.tug.org/texlive/acquire-netinstall.html`  
をクリックする。
- 2 ページ上のリンク `install-tl-windows.exe` をクリックする。
- 3 ダウンロードを終えたら実行する。

# 危険なファイルの処理方法

# TeXlive の導入

- ① 「Install」 を選択する。
- ② 「Next」 を押して進み
- ③ 「特定のミラーを選択」 では日本のミラーサイトのどれでもよいので選ぶとよい
- ④ インストール先は気にしなくてよい。

# 高度な設定

- 「ディレクトリ」は無変更
- 「選択したもの」欄で変更2つ行う。
  - スキーム (インストールするパッケージの種類を大まかに決める) を変更する。basic スキームを選択。
  - 下のカスタマイズに入り、言語欄から日本語と英語を追加。右の他のコレクション欄から 'LaTeX 推奨パッケージ' を追加。

設定が完了したら右下のインストールを押す。

# インストールの正常終了を確認する

インストールの後に、コマンドプロンプトを起動する。コマンドプロンプトは、Windows キーを押すと出てくるところから確認する。Mac の場合はターミナルから行う。ここに

```
latex -v
```

と打ち込めばよい。

Mac では、

# なぜ L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を使うのか

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X とは、文書執筆ツールとして使われる、組版処理系の一つである。  
L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を使う利点をいくつか挙げる。

- 数式がきれいに書ける
  - Word で書こうとするととんでもない数のクリックと精密なエイム力を要求される<sup>1</sup>
- 見た目と論理構造を分離できる
- 修正、再利用が容易
- git でバージョン管理できる
  - 共同編集が可能
- 数学系、物理系では論文執筆のデファクトスタンダード
- 貧弱なスペックのパソコンでも編集作業がやりやすい
- 無料

---

<sup>1</sup>これは決して Word を貶しているわけではない。そのように Word を使うことが間違っているのである。Word も L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X も同じ文書執筆ツールではあるが、それぞれに長所短所があり使うべき場所というものがある。

# TeXlive Manager からパッケージのダウンロード

- ① Windows のスタートメニューから TeXliveManager を実行する。
- ② TeX live Manager を開くと現在 TeX live にあるパッケージが読み込まれる。
- ③ そして、ここから検索欄に自分の必要なパッケージを読み込むと今必要なパッケージをダウンロードすることができる。

検索欄から 'latexmk' と検索する。すると、しばし待機した後に二つの 'latexmk' が出てくる。

- latexmk
- latexmk.win32

の二つが出てくるので、これらをチェックボックスをクリックして選択項目をインストール を選択し latexmk を選択してインストールする。これで latexmk のインストールが完了する。

また今回は、LuaL<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X を用いるので、lualatex-math というパッケージをダウンロードする。



# VSCode のインストール

Visual Studio Code は次のページからダウンロードするとよい。

*<https://code.visualstudio.com/download>*

をクリックしてそのあとの画面の中から今回の場合は、自分の環境に合わせて (Windows か Mac の) ファイルをダウンロードする。ファイルを開き、追加タスクの変更は触らないようにして Next を押し続ければインストールできる。

# latexmk の設定

次のコードをホームディレクトリ直下に入れる。

# LaTeX workshop の設定

# Ultra Math Preview のインストール